



## 目次

看護部だより「功労者表彰」	1
「看護の日」	2
リハビリテーション科リニューアル	3~4
栄養相談室	5
医療安全管理室	6
新任・転任者挨拶	7~10
「ねんきん特別便」のおしらせ	10
患者数	10
外来医師担当表	11

発行：独立行政法人 甲府病院 広報委員会  
国立病院機構  
発行責任者：長沼博文  
住所：〒400-8533 山梨県甲府市天神町11-35  
電話：055-253-6131  
ファックス：055-251-5597  
ホームページ：<http://www.kofu-hosp.com/>  
Eメール：[kofu@kofu.hosp.go.jp](mailto:kofu@kofu.hosp.go.jp)



7月23日、毎年恒例の「重病棟夏まつり」が当院重心グラウンドにて行われました。

当日は地元小学生によるプラスバンド、「じょいそーらん」の演舞、盆踊り、花火大会などが行われ、病院スタッフ、地域住民、そして患者様が一体となって夏の夜のひとときを楽しんでいました。

甲府病院では今後とも、様々な形で地域の皆様との交流を大切にしていきます。（写真・文 管理課庶務係 山田 昌弘）



## 独立行政法人国立病院機構 甲府病院の理念

### 1 基本姿勢

患者さんの目線に立ち、優しさと思いやりをもって病める人々が心を癒し、病を回復し健康を維持されるよう努めます

### 1 政策医療と地域医療

成育、重症心身障害を中心に当院で提供する全ての医療を政策医療として位置づけ、国民の健康と安全に寄与すると同時に、地域医療として山梨県民の皆様へ還元し、県民に選ばれ、お役に立てるように日々努力します

### 1 患者さんの権利

患者さんの平等で適切な医療を受ける権利、知る権利、選ぶ権利を守ります

### 1 研究と教育

全ての医療職種に貢献できる質の高い臨床研究と教育研修の推進に努めます

### 1 安定した経営

たゆまぬ意識改革を行い、独立行政法人として安定した経営を目指します

## 看護功労者の知事表彰を 受賞して

高度周産期医療センター 助産師 位田 良子

水田を吹きぬける風が爽やかに感じます。

5月16日、第30回山梨県看護大会の記念すべき席上で、山梨県より『看護功労賞』を頂き、たくさんの方々からの祝福を受け大変感銘しております。

私は現在、高度周産期医療センターで助産師として妊娠・分娩・産褥期の母子のケアに携わっています。中でも分娩という生命誕生の場は、多くの人達の願いがたくさん詰まった新しい命をこの世に送り出す喜びと同時に、非常に厳粛な現実に向き合わなければならない場となることもあります。どのような場面であっても、常にその人の思いを尊重し寄り添うことができるように努めています。出生数の減少、相つぐ分娩施設の閉鎖など社会の状況が変化する中で、妊娠期から産褥期までの一貫性のある関わりは、産婦と家族が求める満足のいくお産や、核家族の中での楽しい育児を支えることにつながります。また、良い親子関係や家族の絆、人と人との関係づくりへの手助けでもあります。



受賞時の筆者

助産師の資格を取得して三十数年になりますが、これまでこの職業に携わり、今回この賞を頂くことができましたのも、たくさんのお母さんと家族、新しい命、職場の皆様の御支援によるものと深く感謝しております。特に、毎年入職してくる新人の若さあふれる笑顔や明るい声は、仕事や人生を振り返りみつめる良い機会となっています。

これからも、たゆみなく学ぶ姿勢を忘れずに、助産師としての専門性を発揮し、役割を果たしていきたいと思っております。

# 『看護の心をみんなの心に』

看護部看護研究会副会長 外来副看護師長  
萩原 聖子



医事課



6病棟



4病棟

看護の心、助け合いの心を育むきっかけとなるよう、ナイチンゲールの誕生日である5月12日が「看護の日」と制定されています。そして看護の日を含む一週間を看護週間として、看護への理解を深めていただくため、全国各施設で、看護体験や保健相談が行われています。

当院では、5月9日に外来ホールで「看護の日」のイベントを開催致しました。患者の皆様や地域の方々に、当院の看護に触れていただけるよう、病棟紹介の壁新聞展示、生活習慣病との関係が深い体脂肪・血圧・骨密度測定、日常行っている手洗いの評価等を行いました。また、栄養士さんによる栄養相談・メタボ資料やサンプル展示、医事部門のスタッフ紹介の展示等、他部門からの強力な協力もありました。病棟紹介の壁新聞の前では、顔見知りを見つけ指さしたり、看護師・医師の隠れた一面がうかがえ微笑む方や、入院病棟のスタッ

フの姿をみて、懐かしく話される患者の皆様で賑やかでした。川柳・短歌・俳句には皆様から心温まる句が投稿されました。

身の不自由

富士より高い  
看護の高さ

入院中OGより

憧れの

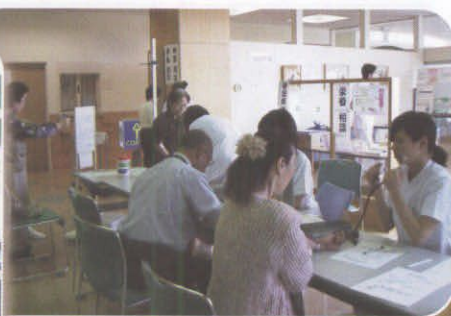
先輩の真似してメイクする  
美人ナースが私の夢なの

きらきら新人Ns

延べ523名の多くの方に参加していただきましたこと、またかげながら準備にご尽力して下さった方々に感謝申し上げます。



栄養相談



血圧測定



# リハビリテーション科リニューアル

この春、リハビリテーション（以下、リハビリ）科は、スタッフの変更と理学療法室の移転が行われ、6月16日、「病院5階 リハビリ科」としてリニューアルオープン致しました。甲府市内を一望でき、晴天の日には富士山を横目に、皆さん楽しくリハビリを行っています。これからも一所懸命がんばりますので、どうぞよろしくお願い致します。

ここで、リハビリ科スタッフを紹介させていただきます。



(写真掲載にご理解・ご協力頂きました方々にお礼申し上げます)



## ◆運動療法主任 廣田 俊之

平成20年4月、赤ちゃんや子供の治療を中心に行っている国立成育医療センターより赴任しました。赤ちゃん（特に小さく生まれた赤ちゃん）の呼吸理学療法や運動発達面のサポートに興味があります。赤ちゃんからご高齢の方まで幅広く対応できる理学療法士でありたいと思います。もたもたしていて、スタッフみんなにいつも助けられています。

## ◆理学療法士 嶋根 香代子

リハビリ総合承認施設で5年間修行をし、平成17年からここで勤務しています。以前の病院では主に脳卒中のリハビリを専門としていました。現在は、山梨学院テニス部や国際テニス大会、高校野球予選等で選手のコンディショニング調整にも携わっています。

## ◆理学療法士 佐々木 智

資格取得後3年半東京の病院で勤務し、平成19年10月から甲府病院に勤務しています。

特に整形外科疾患に興味があり、充実した毎日を過ごさせて頂いています。最近、山梨での生活を充実させるべく車を購入しました。山梨県内のおすすめ情報等ありましたらリハビリ科佐々木まで宜しくお願い致します。

## ◆理学療法士 浅野 厚雄

平成20年4月から新人理学療法士として甲府病院に配属になりました。新人というには少し歳をとっていますが・・・気持ちだけはフレッシュにがんばります。皆様のご要望にお応えできる理学療法士になりたいと思っています。ご指導どうかよろしくお願いします！

## ◆理学療法士 田浦 美由紀

平成20年4月から一年目の理学療法士として甲府病院に就職しました。この病院の最初の印象は、スタッフの皆さんが患者さんに優しく接していて暖かい雰囲気病院だと思いました。これからプロとしての自覚を持ち、患者さんにとって良いサービスを提供していくため、日々研鑽を積んでいきたいと思っています。

## ◆マッサージ師 小川 真知子

平成19年4月より重度な障害をお持ちの方々に対するマッサージを中心に関わっております。どうぞよろしく申し上げます。

## リハビリ連載シリーズ①

## コラム：『ランナーズハイ』の舞台裏

皆さんはランナーズハイという現象をご存じだろうか。この現象は、長距離ランナーが走り続けていると急に気分が良くなり、どこまでも走り続けられるような爽快な気持ちになる事である。ランニング中には、私たちの体内では交感神経が緊張状態にあり、血圧が上がり、心拍数が増加する。そして筋肉で発生した熱によって体温が上がり、調節するために汗をかき始める。交感神経が緊張するという事はある種の「ランニングする」という「ストレス」が加えられているということである。

ランニングを始めた当初は息も苦しく、とても楽しいとは感じられないが、何週間か続けるとその息苦しさも軽減されてくる。そして、ある瞬間に「ランナーズハイ」が突然やってくる。これは、モルヒネのような鎮痛効果を持つ脳内物質「エンドルフィン類」の働きによって起こるといわれている。β-エンドルフィンランニング中に苦しみを和らげる鎮痛効果の役割を發揮し、「ランナーズハイ」といわれる「爽快感」がやってくるのである。雨の日などでランニングが出来ないとき、走りたくて仕方がない状態になるのは、この鎮痛効果の後にやってくる「爽快感」を感じたいがため、あるいはその禁断症状のためなのである。(参考図書 富田広美著『脳百話』)

ちなみにこのエンドルフィン、出産時にはこの6~10倍も放出されるそうである。(産んだ後、痛みを忘れるくらい幸せな気分になったり、鼻から大根を出すくらい痛かったけどもう一人産みたい!と思うのは、このエンドルフィンも関係しているといわれている。お母さん、産んでくれてありがとう!!)

さらに余談であるが、犬は汗腺が肉球にしかなく、十分に発汗できないため、代わりに気管を開いて新しい空気を多く取り込むことで体温の上昇を防いでいる。口を開けている為に大量のヨダレを出すのである。(なので、このヨダレは汗の代わりというわけではないらしい。)

# 栄養相談室

栄養管理室長 白井 敏昭

## いつ起こる甲斐路大地震？

昨年7月16日（海の日）に“新潟県中越沖地震”があった事は未だ記憶に新しいところですが、またしても2ヶ月前の6月14日（土）東北地方で“岩手・宮城内陸地震”と命名された大きな地震があり、今や“天災は忘れないうちにやってくる”のようです。

今回は何かの参考になればと思い、中越沖地震の報告をしたいと思います。

### 最近(?)の大きな地震

- 1964年6月16日…新潟地震 M7.5
- 1995年1月17日…阪神・淡路大震災 M7.3
- 2004年10月23日…新潟県中越地震 M6.8
- 2007年3月25日…能登半島地震 M6.9
- 2007年7月16日…新潟県中越沖地震 M6.8
- 2008年6月14日…岩手・宮城内陸地震 M7.2

### 地震による被害状況

#### \* 人的被害

死者:11人 負傷者:1,984人 (重傷者:175人)

#### \* 住宅被害

全壊:1,001棟 半壊:3,267棟 一部損壊:34,318棟

#### \* ライフライン

停電:35,344戸 断水:58,961戸 ガス:30,978戸

### 新潟病院の被害状況と対応等

	病 院	栄 養 管 理 室
建物等	外壁落下、壁の亀裂・損壊多数、給水管破損、増設剥離、地盤沈下、MR I 約20cm移動等	スチール製配膳棚転倒、食器洗浄機・プレハブ冷蔵庫移動等
電 気	停 電 な し	
水 道	断 水	
	病院の対策本部から市の対策本部に要請 24時間自衛隊がピストン輸送 2日後 (7/18) の夕刻復旧	
都 市 ガ ス	ス ト ッ プ	
	7月16日～8月31日までストップ	翌日 (7/17) の夕刻LPガス設置 (LPガス対応ユニットの設置検討) 11日後 (7/27) 復旧

### 幸運だったこと (順不同)

病 院	栄 養 管 理 室
午前10時という時間帯だった (夜でなかった)	
梅雨の時期であったが雨が降っていなかった	
柏崎・刈羽原発から放射能がもれなかった	
停電しなかった	
市の浄水場が病院の近くにあり自衛隊や市による水の供給が病院最優先に行われた	調理に使う水が院内でも最優先された
患者や職員に甚大な身体被害がなかった	全員ケガもなく予定どおり勤務できた
平日でなかった (外来に患者がいなかった)	ポイラーが停止しなかったので蒸気釜 (3基) が使えた
2004年の中越地震を教訓に耐震工事中で仮設病棟が2ヶ病棟あった	食材料の調達が予想以上に順調だった
県内外の機構病院から看護師・薬剤師・事務官の人的支援が受けられた	県内の機構病院等から炊き出し・非常食・デイスボ食器等の支援が受けられた
看護学生・教員が応援に駆けつけてくれた	翌日LPガスの設置ができた

### 病院機能維持の条件

#### 建物の安全性

#### 医療従事者の確保

#### ライフラインの確保

#### 医療機器・材料の確保と安全性

### 考えておきたい事項

\* 人手の確保をどうする？

\* 停電したらどうする？

自家発電設備の耐震性・発電能力・使用機器の優先順位・消費電力

\* 自家発電が使えなかったらどうする？

\* 水が止まったらどうする？ 貯水槽の容量

\* 熱源 (ガス) の確保をどうする？

LPガスボンベ対応ユニット

\* 酸素が使えなかったらどうする？

酸素ボンベの備蓄

\* 物が倒れず、物が落ちない工夫をどうする？

\* 職員の食料・飲料水をどのように確保する？

“備えあれば憂いなし！”

# 医療安全管理室より

## 心から「お大事に」

副院長 久富 幹則

平成20年も後半入り、甲府の暑い夏をいかがお過ごしですか？ 思えば今年も例年と変わらず、新聞やテレビでは院内感染、採血器具の使い回し等々、毎日のように報道されていますし、また食の安全では産地偽装、賞味期限の改ざんと日本の誰かがカメラの前で頭を下げている姿が報道されています。このようなシーンが知らないうちに日本のマスコミ対応として定着した感がありますが、皆様はこのような時代をどのように感じておられますか？

これらの繰り返しの報道は安全と安心といった点ではその意識の向上には有益と思いますが、一方で患者さんは医療を不審に思い、医師はリスクのある患者さんを敬遠するといった方向に向かってしまう、いや既にそのようになりつつあると感じております。

頼みにしている（当てにはしてませんが）国は？ といえ、毎年2000億以上の医療費の削減を目標に医療改革を断行しており、日本中で医師不足・医療崩壊が叫ばれております。考えてみれば、このような時代に安全な安定した病院経営をしていくことは並大抵ではありません。当院もこの流れをまともに受け、医師不足は危機的状況で、大東和戦争の日本軍と同じで壊滅寸前の感があります。しかし



こういう時こそ医療の原点に帰って、コツコツと一人ひとりの診療に向かうことこそが大切だと思いますが、いかがでしょうか？

元来、日本人には人を思いやる優しい心と美しい言葉がたくさんあります。「すみませんが」「お願いします」「ありがとうございました」等々、診察が終わったら笑顔で「お大事に」と心から話すことが本来の医療人の姿と思いますが、いかがですか？ こういう時代こそ初心を忘れずに日々の診療に向かいたいものです。



# 新 任 ・ 転 任 の ご あ い さ つ



## 出戻りです

整形外科医長 戸野塚 久紘



2年前に甲府病院を退職して、また縁あってお世話になる事になりました。前回こちらに来たときは外傷、特に高齢者を主に診療していましたが、今はすっかり方向性が変わりスポーツ外傷に重点を置く病院となっており、驚いております。新任早々、手術件数も多く忙しい毎日を送っていますが、以前とは別の形で地域に貢献できることになろうかと思えますし、スタッフの皆さんもとても頼もしく、支えていただきながらも今後ともがんばってまいりたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。

## 新任のごあいさつ

泌尿器科医長 野澤 宗裕

小児科医師 加賀 佳美



7月1日より相川医師の後任としてこの度本院の泌尿器科で診療を担当することになりました。私は山梨県出身で地元の山梨大学の卒業ですが医局の人事でいままで山梨県内はもちろん県外のいろいろな病院に勤務してきました。これらの病院をめぐった際にその病院の長所や短所を見て自分なりに受け止め吸収してこれたものと自負しています。この病院でもこれまでの勤務経験を生かしてがんばりたいと思います。よろしくお願いたします。



甲府病院は今回初めての赴任ですが、15年前、統合前の国立療養所西甲府病院に勤務していました。10年以上時がたち、私も患者様も年をとってしまいましたが、同じ顔ぶれにとっても懐かしく思いました。病院も新しくとても立派になり、患者様の重症化にも伴って医療レベルの上昇を感じます。特に合併したことで他科との連携と検査機器が充実しています。前は駆け出しで何もわからない状態でしたが、さらに精進しつつ、今までの経験を生かして医療に取り組みたいと思います。





## はじめまして

小児科医師 長野 伸彦



昨年は東京都立墨東病院に勤務していましたが、4月1日に新しく甲府病院小児科に配属されました。

甲府に来ての第一印象は、温かい人柄の方が多いなと感じました。私には7か月になる娘がいるのですが、一緒に歩いていると、「かわいいわねー。今何か月？」と声をかけてくださいます。これはなかなか東京で勤務している時は少ないことでした。自分にも子供ができて、小児科医の役割や責任をさらに強く感じるようになりました。微力ながら、少しでも地域の小児、新生児医療に貢献できればと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

## はじめまして

産婦人科医師 原 典子



はじめまして。4月より産婦人科で勤務させていただいています原典子と申します。出身は山梨で、山梨県立中央病院でローテート研修、山梨大学産婦人科で研修した後、こちらで勤務することになりました。好きなことは、食べること、寝ること、子供と遊ぶこと、茶道、掃除、ストレッチ、アロマ、マッサージ・

整体、仕事も好きです。最近、ヨガと料理をはじめました。国立甲府病院では、これまで以上にたくさんのことを身につけて、地域の皆様に還元できたらと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

## はじめまして

薬剤科 宮澤 淑子



4月1日付けで中信松本病院より転任となりました。

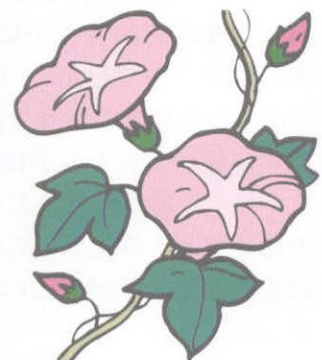
甲府へ転勤と話す「果物がいっぱい良い所だよ。でも夏はすごく暑いよ。」と皆に言われ楽しみに(?)して参りました。甲府病院は建物も新しく気分一新で仕事が出来そうです。1日も早く業務に慣れるようがんばりたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

## 富士の見える地で

薬剤科長 山崎 博義



はじめまして、4月より薬剤科にお世話になっております、山崎と申します。長野、神奈川、群馬、新潟の病院8施設に御世話になり、富士山の見える甲府病院に勤務するのは、今回で、9ヶ所目になります。今、病院薬剤師に求められているものは、薬剤管理指導、抗がん剤の調製、薬学生の病院実習教育など、それは、まるで富士のすそ野のように広がっています。甲府の夏は、暑そうですが、甲府病院の皆様と共に頑張る所存です。宜しく御願い致します。



## はじめまして

研究検査科 川鍋 雄司



4月1日付けで東長野病院から甲府病院に医化学主任として配置換となりました。甲府は、長野と同じく自然に恵まれ甲府病院からの山々はとても美しく、なかでもその後方にそびえる富士山は格別で赴任そうそう感動しました。自然環境もさることながら職場においても良き上司・仲間に恵まれとても良い環境です。ただ甲府の夏は長野に比べ厳しいと聞いています。フルーツ大国と呼ばれる山梨の美味しいフルーツを食べ厳しい夏を乗り越えたいと思っています。

現在、生化学・免疫血清検査を担当しており、正確かつ迅速な結果を提供すべく日々努力しております。これからは、当院の為、地域の皆様の為より良い医療を提供できるようがんばっていきます。よろしくお願い致します。

## 転勤の挨拶

放射線科副技師長 佐藤 勝



7月1日に阿部副技師長との交代で転勤してきました佐藤といいます。

こちらの施設は前の施設と比べて空気がとてもきれいに感じられて、とても気に入っています。

私自身まだこちらに来て少ししかたっていないのと、単身赴任のため落ちつかないことがいっぱいあり、まわりの人達に迷惑をかけながらやっています。

前の施設の放射線科もかなり厳しい状態でしたが、当院の放射線もいろんな意味でかなりきびしく感じています。ただやる気だけはありますので、ほかの放射線のメンバーと共に頑張りますのでどうぞよろしくお願い致します。

## 早、5ヶ月

栄養管理室長 白井 敏昭

早いもので、当院に着任して無事5ヶ月目を迎える事ができました。

新潟(市)生まれ新潟育ちの私にとって、山梨(甲府)は訪れる機会が殆どなく縁遠い県の一つでした。一時期山登りに熱中していた事があるためか、四方を山に囲まれた中での単身生活は、今や他県ではなかった楽しさを感じています。

ここ数年、管理栄養士の業務は、NST活動をはじめとして、多職種とのチームでの業務が増えている中、今まで以上に職場内は基より職種間における人間関係やチームワークの大切さを感じています。

牛肉の偽装問題・賞味期限の改ざん・冷凍食品の異物混入等々、「食」に関する事件が後を絶たない中、患者様に安心・安全な美味しい食事が提供できるよう努めていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

研究検査科 紅林 里美



4月1日から甲府病院に臨床検査技師として採用されました。初めて着任した病院なので不安なことも多いのですが、職場の方々を支えられながら検査技師として社会人として日々多くのことを学ばせていただいております。

検査科では血液学検査・輸血学検査を担当しています。血液学検査では、顕微鏡を使っての白血球の分類の難しさ、輸血学検査では迅速かつ正確な検査の重要性を感じています。検査技師としての責任は重大ではありますが医療に貢献できるやりがいを日々感じています。これからも自身の知識や技術を磨き、患者様に還元できるように努めていきたいと考えています。どうぞよろしくお願い致します。



## はじめまして

企画課 算定・病歴係 古川 翔太



私は4月1日に甲府病院の企画課の算定・病歴係として採用されました。岩手を離れ山梨に来て数ヶ月が経ちました。多少ですが仕事に慣れてきました。しかしまだまだ覚えることも多く、毎日が勉強です。

事務職員は病院運営の裏方です。医師や看護師の方々と違い、患者様と直接的に関係を持つことはあまりありません。しかし受付などで患者様と対応する時には、悪い印象を与えないように注意しながら対応をしています。

これから業務などで困難な壁にぶつかる事がたくさんあると思います。これらの壁を乗り越え職場の先輩や上司だけでなく、医師や看護師の方々とともに協力して円滑に仕事を進められるような職員を目指して成長していきたいです。どうぞよろしくお願いいたします。

## はじめまして

療育指導室 保育士 林野 このみ



4月1日に甲府病院の療育指導室に保育士として採用されました。私がこちらの採用試験を受けるきっかけになったのは、学生時代の甲府病院の重症心身障害施設での実習でした。日々利用者の方から「命の大切さ」を感じさせられ、利用者の方と毎日過していると、より多くの方に障害について知ってもらいたいと思い、その架け橋になれたらいいなと思いました。

就職してからは、不安や戸惑いがありましたが、周りの職員の方々に支えられ、とても充実した日々を送っています。その温かな環境の中で、常に笑顔で接し、「個」を大切にされた療育に努め、利用者の方の気持ちに「代弁できる存在」でありたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



— 社会保険庁からのお知らせ —

(すべての方用)

### 「ねんきん特別便」年金記録の確認にご協力ください。

4月からすべての年金受給者に、6月から加入者の方にお届けします

- 緑色の封筒でお届けします。
  - ・年金を受けておられる方 = 本年4月から5月までの間
  - ・現役加入者の方 = 本年6月から10月までの間
- 年金記録の確認をお願いいたします。
  - ・年金記録に「まれ」や「間違い」がないか十分にご確認をお願いします。
  - ・「まれ」や「間違い」がある場合も、必ずご回答くださいようお願いいたします。
  - ※ 年金記録が変われば、正しい年金額をお受け取りいただけることとなり、年金額が増える可能性が高いので十分にご確認ください。

※ 3月までに青色の封筒で「ねんきん特別便」が届いた方は、年金記録にもれがある可能性が高い方です。  
 ・まだ回答をいただけていない方がいらっしゃいますので、ご注意ください。  
 ・まず、「ねんきん特別便専用ダイヤル」にお電話ください。  
 ・結びつく可能性のある記録についての具体的な情報を提供します。

【年金支給額が増えた例 (A男さん75歳の場合)】  
 13か月分のお勤め期間の記録もれが見つかり、これからの年金支給額が年額で約5万円増え、過去に支給できた年金として約53万円をまとめて受け取れました。

- まわりの方にも呼びかけてください。  
 ご家族の方などに「ねんきん特別便」が届いたら、過去の履歴について一緒に記憶をたどってみるなど、多くの方からご回答をいただけるよう、ご協力をお願いします。(ご家族でも、お一人お一人に届く時期は異なります。)



6月から10月の緑色の封筒



3月までの青色の封筒

ご質問・お問い合わせは

- 「ねんきん特別便専用ダイヤル」  
 月～金曜日：午前9時～午後8時  
 第2土曜日：午前9時～午後6時  
 ※上記以外の受付日時については、社会保険庁HP(<http://www.sia.go.jp/>)でご案内しております。
- 0570-058-555  
 ※ IP電話・PHSからは「03-6700-1144」にお電話ください。  
 ※ 一般の年金相談は、「ねんきんダイヤル」0570-05-1165まで。
- お近くの社会保険事務所・年金相談センター  
 ※ 都道府県社会保険労務士会でも無料相談を行っています。  
 ※ 詳しくは、HP(<http://www.sia.go.jp/>)まで。

## 平成20年度一日平均患者数

### 入院

※7月分及び年度累計は7月末日現在 (小数点以下第2位は四捨五入)

種別	月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
一般		104.1	95.6	90.5	95.1									96.3
重心		118.7	117.1	116.5	119.3									117.9
計		222.8	212.8	207.0	214.3									214.2

### 外来

※7月分及び年度累計は7月末日現在 (小数点以下第2位は四捨五入)

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
	250.9	264.1	255.1	253.1									255.6

# 外来医師担当表

平成20年8月1日現在

		月	火	水	木	金	
内科	1	渡 邊	渡 邊	渡 邊	渡 邊	渡 邊	
	2	黒 澤	黒 澤	黒 澤	呼吸器科 菱山	黒 澤	
	3	循環器科 佐野		川 口	中 尾	川 口	
	4	/					
脳外科		長 沼	長 沼	/		長 沼	
特殊外来 午後3時～		/		渡 邊	/		
消化器科		稲 岡	稲 岡	大 塚	/		肝臓専門外来 鈴木
小児科	1	久 富	木 多 村	加 藤	久 富	長 野	
	3	中 根	神 谷	加 賀	中 根	中 村	
神経外来(午後)		加 賀	中 村	神 谷	/		
摂食外来(午後)		/		/		第2週 神谷 第3週 小野	
外科		鈴 木	角 田	牧	鈴 木	角 田	
整形外科 (スポーツ・膝疾患治療センター)	1	萩 野	戸 野 塚	戸 野 塚	萩 野	萩 野	
	2	戸 野 塚	落 合	落 合	千 賀	落 合	
泌尿器科		野 澤	山梨大医師	野 澤	野 澤	野 澤	
産婦人科	1	滝 澤	雨 宮	滝 澤	雨 宮	朝 田	
	2	雨 宮	朝 田	山梨大医師	朝 田	滝 澤	
	3	原		/		原	
眼科		/		地 場	津 村	後藤(入院)	
耳鼻咽喉科		/		/		矢 崎	

●受付時間 初診/午前8時30分～午前11時00分 再診/午前8時20分～午前11時00分(再診で予約を取られている方は予約時間まで)  
 ※精神科診察は院内紹介の方のみとなります ※予防接種(小児科)/毎週 水曜日(完全予約制)  
 ※物忘れ外来/脳外科外来 ※人間ドック/毎週 火・木曜日 脳ドック/毎週 月・火曜日  
 ※乳児健診/毎週 火・木曜日(完全予約制) ※毎月第4金曜日/黒澤医師 糖尿病教室

## 募 集

### ◇周産期新生児専門医コース

- 対 象：小児科専門医
- 期 間：6ヶ月間の国立成育医療センターでの研修を含め、3年間。
- 募集人員：若干名
- 身 分：常勤医師
- 指 導 医：副院長 久富 幹則(暫定指導医)

### ◇整形外科後期臨床研修コース

- 対 象：原則、卒業後3～5年の医師
- 期 間：3年間
- 募集人員：2名
- 身 分：常勤医師
- 指 導 医：外科系診療部長 萩野 哲男  
整形外科医長 落合 聡司

### ◇その他医師を募集しています。

## 平成21年度採用 看護職員募集 随時行っております



当院ホームページより「受験願書」「採用希望施設票」をダウンロードの上、当院管理課人事担当宛にお送り下さい。折り返しご相談をさせていただきます。



### 宛先および照会先

〒400-8533  
 山梨県甲府市天神町11番35号  
 国立病院機構甲府病院  
 管理課 人事係  
 電話 055-253-6131(代表)